



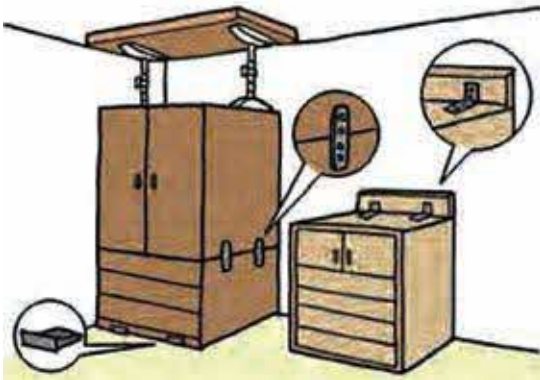
じゃがいもずきん「ききぼう」くん

阪神・淡路大震災以後、建物の耐震化が進みました。

また、火災予防のためにガス器具や石油ストーブには自動消火機能がつくようになったりと、機能的で便利になる一方、豊かな暮らしとともに室内にもものが増え、家具の転倒、落下、家具の飛び出しの危険が増えています。

今回は家具固定と安全づくりのポイントをご紹介しますので、大きな揺れが来たときのことを想像しながら部屋の中を見渡し、確認できた項目に☑を付けてみてください。

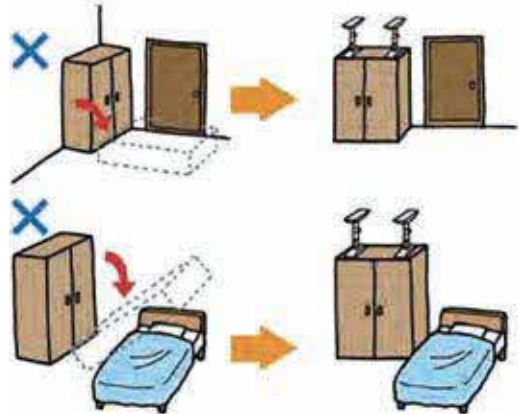
- ☐ 大型の家具、冷蔵庫の転倒防止、電子レンジの飛び出しを防ぎましょう



- ☐ 高いところに重たいもの、割れやすいものを置かないようにして、寝る場所には何も落ちてこないようにしましょう



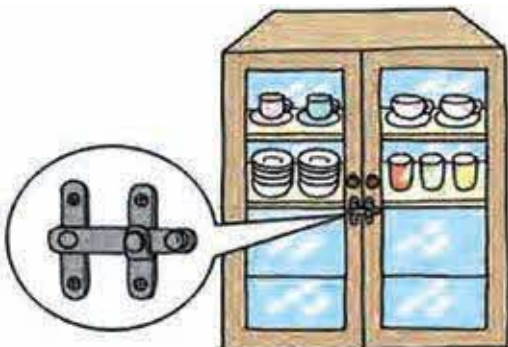
- ☐ 部屋の出入口や寝ているところに家具が倒れてこないよう、安全スペースを考えて家具を配置して耐震固定をしましょう



- ☐ 窓や食器棚などのガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう



- ☐ 棚や食器棚からものが飛び出さないように扉にロックをつけましょう



- ☐ テレビやパソコンなどのAV・OA機器を専用の器具で固定しましょう





中標津町

毎年10月4日は



防災の日です!

1994年（平成6）年10月4日22時23分、北海道東方沖地震が発生しました。

地震の規模は、マグニチュード8.2と、2011年（平成23）年3月11日に発した東北地方太平洋沖地震が起こるまでは、気象庁がデータを整理している1923（大正12）年以来、日本周辺で発生した地震としては、最大級の地震でした。

最大震度は、釧路市と厚岸町で震度6と観測され、中標津町は当初震度4と発表されましたが、地震計が設置されている場所が市街地から離れ、地盤も頑丈であったため被害状況から判断して震度5強～6弱程度の地震だったと推測されています。

釧路市での被害が目立っていましたが、中標津町での被害も甚大で、建物や道路が損壊し、断水により給水車が出動するなど、大きな被害を受けました。

中標津町では、災害での教訓を風化させないため、北海道東方沖地震が発生した10月4日を「中標津町防災の日」として定めています。



写真は全て、当時の中標津町の様子です。

詳しくは、総務課 防災係まで。